もっと知りたい 武者小路実篤

実篤、欧米（おうべい）へ行く オリンピック観戦

音楽は鳴り響（ひび）きラッパは荘厳（そうごん）に響き渡（わた）ると、ギリシャを先頭にして五十三ヶ国の選手が色とりどりの服装（ふくそう）で隊伍（たいご）を揃（そろ）えて登場する。…二十五番目に日本の諸君（しょくん）が現（あらわ）れる。我等（われら）は誇（ほこ）りを以（もっ）て拍手（はくしゅ）を送った。…五千の鳩（はと）が飛ばされ大合唱が始まると二人の若者（わかもの）が現れて来る。一人の若者は炬火（たいまつ）を持って走る。

——「湖畔の画商」より

この大会で初めて聖火（せいか）リレーが行われました。

ドイツ・ベルリンで1936年8月1日〜16日に開催（かいさい）されたオリンピック。実篤は、開会式や表彰式（ひょうしょうしき）、40以上の競技（きょうぎ）を自分の目で見て、リポートを書きました。

大会の記念絵葉書
21競技129種目が行われ、3,963人の選手が参加しました。

この時はスポーツ競技だけでなく「芸術競技」があり、日本からも絵画や音楽などを出品しました。展覧会（てんらんかい）のように絵画や彫刻（ちょうこく）が並（なら）ぶ会場だったそうです。

◆実篤が見た式典・競技

開会式

《陸上》

男子 100m
・吉岡隆徳
・鈴木聞多
・佐々木吉蔵
男子 200m
・谷口睦生
・矢沢正雄
男子 800m
・富江利直
・青地球磨男
男子 1500m
・中村清
男子 5000m
・村社講平　4位入賞
・田中秀雄
男子 10000m
・村社講平　4位入賞
男子マラソン
・孫基禎　金メダル
男子 50km競歩
・奈良岡良二　19位
女子 80m ハードル
・三井美代子
男子 110m ハードル
・村上正　準決勝進出
・古田康治
・清水孝太郎
男子 3000m 障害
・今井哲夫
・田中秀雄
男子走り高跳び
・田中弘　6位入賞
・朝隈善郎　6位入賞
・矢田喜美雄　5位入賞
女子走り高跳び
・西田順子
男子走り幅跳び
・田島直人　銅メダル
・原田正夫
・戸上研之
男子三段跳び
・田島直人　金メダル（世界新記録）
・原田正夫　銀メダル
男子棒高跳び
・西田修平　銀メダル
・大江季雄　銅メダル
・安達清　6位入賞
男子砲丸投げ
男子円盤投げ＊日本人選手の出場はなし
女子円盤投げ
・児島フミ　15位
・中村コウ　4位入賞
・峰島秀　5位入賞
男子やり投げ
女子やり投げ
・山本定子　5位入賞
男子ハンマー投げ
・松野栄一郎
・阿部功　13位

《水泳》

男子 100m 自由形
・遊佐正憲　銀メダル
・新井茂雄　銅メダル
・田口正治　4位入賞
女子 100m 自由形
・小島一枝　準決勝進出
・竹村令
＊日本人選手の出場はないが決勝も観戦
男子 100m 背泳
・清川正二　銅メダル
・吉田喜一　5位入賞
・児島泰彦　6位入賞
女子 100m 背泳＊日本人選手の出場はなし
男子 200m 平泳ぎ
・葉室鐵夫　金メダル
・小池礼三　銅メダル
・伊藤三郎　5位入賞
女子 200m 平泳ぎ
・前畑秀子　金メダル
男子 400m 自由形
・鵜藤俊平　銀メダル（予選で大会新記録）
・牧野正蔵　銅メダル
・根上博　5位入賞
女子 400m 自由形
・小島一枝　6位入賞
男子 1500m 自由形
・寺田登　金メダル
・鵜藤俊平　銅メダル
・石原田愿　4位入賞
男子 4 × 200m 自由形リレー
・新井茂雄・杉浦重雄・田口正治・遊佐正憲
金メダル（大会新記録）
女子 4 × 100m 自由形リレー
・小島一枝・竹村令・古田つね子・守岡初子
女子高飛込
・大沢礼子　4位入賞
男子 3m 飛板飛込
・柴原恒雄　4位入賞
女子 3m 飛板飛込
・大沢政代
6位入賞
水球

《芸術競技》

絵画
・藤田隆治
銅メダル
水彩
・鈴木朱雀
銅メダル
音楽
・江文也　選外佳作

＊実篤が見て、記録した競技・人名の一覧です。
＊当時の競技名・人名で表記しています。
＊順位の表記がない選手・競技は予選敗退です。
＊新記録は当時のものです。

東京朝日新聞
文刊
我等高らかに歌ふ
あゝ君が代の感激
武者小路實篤 手記
クツピムリオ記戦觀
コール冠國

実篤が見た男子三段跳（さんだんと）びのリポート
朝日新聞8月7日夕刊　県立神奈川近代文学館所蔵

これは実篤が朝日新聞社から依頼（いらい）された仕事で、他にも文学者や詩人がリポートを頼（たの）まれていました。日本にテレビが無かった当時（とうじ）、新聞に掲載（けいさい）されたリポートは、日本中にオリンピックの感動や選手の奮闘（ふんとう）を伝えたのです。

日本人女性初の金メダル

競泳女子200m 平泳ぎ
前畑秀子選手

愈々始まる。又五人並行、前畑幾分よし、ドイツのゲネンゲルと二人抜き出る、実にいい勝負。前畑すこしづつよし、しかし極少しの差、心配。いい勝負、希望あり、遂にちょっとの差で勝つ。気を揉んだだけ皆喜ぶ。

――「湖畔の画商」より

白いキャップをかぶるのが前畑
（ベルリンオリンピック記録写真より）

世界新記録で金メダル

競泳男子4×200m
自由形リレー

左から
杉浦重雄、新井茂雄
遊佐正憲、田口正治

いよいよ始まる。遊佐既に抜、…日本とアメリカの勝負、しかし日本杉浦になってずっと抜き出す、日本人拍手。三番の田口、また抜く、…益々日本速し、差益々出来る。日本喜ぶ、手が痛くなるほど皆拍く。最後は新井、…日本の勝利は確か、あと百米のところで二十五米ほど違う、大勝利、またレコードを立派に破る。

――「湖畔の画商」より

開会式を見て「四年後に我等は東京に於て日本人らしくこの祝典を行って我等国民の行動力を示したいものだ」（「湖畔の画商」より）と、実篤も期待を寄せた1940年の東京大会でしたが、「幻の東京オリンピック」と言われるように、開催を2年後に控えた1938年に開催都市を返上することとなります。

実篤が見たもうひとつのオリンピック

ベルリンから28年後、1964年10月10日～24日に開催した東京大会。79歳を迎えた実篤はテレビで観戦しました。

実篤が長女・新子に送った手紙　8月14日

「昨日も日本の旗がのぼった。日本はおよぎは実に強い。」

10月24日の閉会式で、各国の選手が肩や腕を組んで入場する姿に、実篤はとても感動しました。写真提供：朝日新聞社

最後の日の各国、各人種の心からの愛情のこもった真心からの友情が感じられた光景は忘れられない。…それは嬉しい美しい光景であった。それでこそ人類という感じがした。

――「一人の男」264章より

大会にむけて親友・志賀直哉からアメリカ製のカラーテレビを贈られ、喜んだ実篤でしたが、開会式を目前に故障し、修理にだすことに。初日は間に合わないと諦める中、前日、なんとか手元に届き、孫と見ることができました。

発行日／令和2年7月18日　企画・発行／一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館　〒182-0003 東京都調布市若葉町1-8-30　TEL.03-3326-0648
デザイン・レイアウト／今井三樹男　　イラスト／矢口由美子　　印刷／半七写真印刷工業株式会社